

|        |   |  |
|--------|---|--|
| オオカサスゲ | <i>Carex rhynchophysa</i> C.A.Mey.  | 絶滅危惧I類   |
|        |   | カヤツリグサ科  |
| 選定理由   | 生育地が限定される上に、もともとの個体数が少なく、継続的な減少が予測されるため。  | 写真(清水英彦)   |
| 形態の特徴  | 匍匐枝を伸ばし、群生する。基部の鞘は赤褐色。雄鱗片は淡褐色～褐色、鋭頭。雌小穂は長円柱形、短柄があり、斜上または先が垂れる。雌鱗片は淡褐色～褐色で中脈緑色、鋭頭～鋭頭短芒端、果胞より短い。果胞は熟すと膨らんで開出し、無毛、有脈、嘴は長く、口部は鋭2歯。カサスゲに似るが、雄小穂が2個以上付く点で異なる。花期は5-7月。 |    |
| 生態的特徴  | 湿地に生育する多年草。   |  |
| 分布状況   | 北海道・本州(中部以北)に分布し、岐阜県では県北に分布する。  |  |
| 減少要因   | 開発による湿地の消失、植生遷移による湿地の樹林化。   |  |
| 保全対策   | 開発行為からの湿地の保全、および植生遷移の抑制。  |  |
| 特記事項   |   |  |
| 参考文献   | 勝山輝男. 2005. 「ネイチャーガイド 日本のスゲ」. 文一総合出版, 東京.<br>星野卓二・正木智美・西本真理子. 2011. 「日本カヤツリグサ科植物図譜」. 平凡社, 東京.   |  |

文責:清水英彦